

2016年6月23日 掲載 物流ニッポン

第一貨物京都支店移転

久留米運送の施設賃借

仙台直行便、毎日運行へ

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)は京都支店(京都市伏見区)を京都府八幡市

に移転し、20日から業務を開始した。久留米運送(福岡県久留米市)が新築した施

設を部分的に賃借し、同社と共同配送を実施する。また、7月以降は仙台直行便を毎日運行させ、利用者の利便性アップ、高品質な輸



送サービスの提供に努める。

旧京都支店は1982年3月に開設。協力会社と連携し、京都市内が自社配送、それ以外は委託することで府内全域をカバーしてきた。荷さばきスペースが手狭になったことに加え、施設も老朽化。2014年、久留米運送から提案を受け、入居前提で話を進めてきた。

2階建て事務所及び荷さばきホームを借り、荷さばきホームは従来に比べ2.4倍に広がった。両面バスとなっており、集配車両は集配車11台、運行車両は大型車9台が同時に接車できる。

移転に伴い、1月にリニユールオープンした滋賀支店(滋賀県湖南市)とのエリアを再編する一方、府内で委託していた城陽市、八幡市、久御山町を自社配送エリアに切り替えた。月

「75周年という記念すべき節目に京都支店が再スタートする」と武藤社長

間取扱量は、これまでの2千、以上にアップ。集配車両は19台から21台、人員も14人から19人へと増強し、輸送体制を強化する。

共同配送については、久留米運送から引き受けるエリアが左京区、下京区の一部、上京区、西京区、北区、山科区及び南区の一部は引

き渡す。

17日の内覧披露式で、武藤社長は「旧支店は市街地で、近所や顧客に不自由をかけていた。適地を探している中、一緒に移転しないかと声を掛けてもらった。1941年の創業から75周年という記念すべき節目に京都支店が再スタートする」と述べた。(落合涼二)

き渡す。